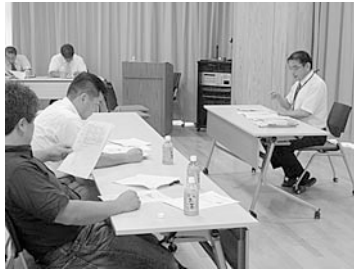


東通学園第2回学校保健委員会 「すこやか会議」の報告



すこやか会議の様子



助言して下さった俣田登先生（右上）



お話し下さった川原田恒先生

8月24日（火）に東通中学校会議室にて第2回学校保健委員会が開催されました。会議のテーマは「東通村の乳幼児・児童・生徒の肥満と指導の現状について」でした。参加者は、小・中学校・幼稚園・児童館関係者、小中PTA会長・母親委員、学校医、村教育員会担当者、村保健師さん方で、助言者として下北教育事務所の俣田登先生を招いて研修しました。

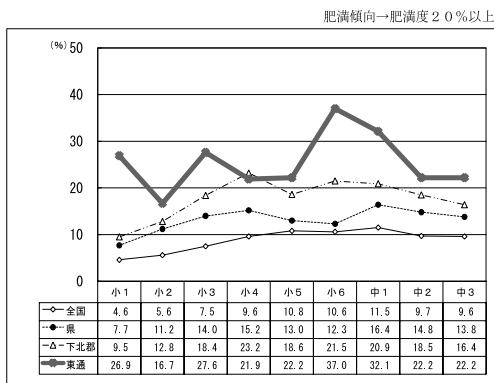
協議の中で、東通村は肥満傾向児がとて多いことを確認し、食生活の乱れやテレビやゲーム等のメディア依存の問題が話し合われました。

学校医の川原田先生からは、生涯を通して自ら健康で安全な生活を送ることができるよう、東通村に健康文化の意識を育てることについてのお話がありました。また、下北教育事務所の俣田先生からは、睡眠時間と肥満の関係について、乳幼児期から小学校、中学校へと指導を繋げていくことの必要性と、今回のように関係者が一堂に会し、東通村の子どもたちの健康問題を話し合うことが最も重要で継続してほしいと助言がありました。ありがとうございました。

＜東通村児童・生徒の肥満度の現状＞

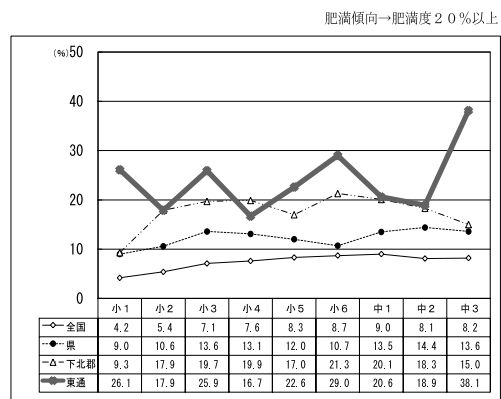
*一番上の太線が東通村の児童・生徒をあらわしています。

肥満傾向児出現率比較(男子)



男子は、全学年、全国平均より上回っています。特に、小学校1年生は全国平均の約5倍以上、小学校2年～中学校3年は約2～3倍です。

肥満傾向児出現率比較(女子)



女子は、全学年、全国平均より上回っています。特に、小学校1年生は全国平均の約6倍、中学校3年は約4倍以上、上回っています。小学校2年～中学校2年は、全国平均の約2～3倍上回っています。